



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハマキョウレックス
 コード番号 9037 URL <http://www.hamakyorex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大須賀 秀徳

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 (氏名) 山崎 裕康
 管理本部長兼経営企画室長

TEL 053-444-0054

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 平成24年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	44,149	△1.6	3,225	1.5	3,319	3.9	1,728	5.3
24年3月期第2四半期	44,864	8.0	3,179	7.5	3,193	0.5	1,642	9.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,921百万円 (4.9%) 24年3月期第2四半期 1,831百万円 (7.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	206.96	—
24年3月期第2四半期	196.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
25年3月期第2四半期	85,839		30,095		30.3	
24年3月期	85,164		28,382		28.7	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 26,025百万円 24年3月期 24,474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
25年3月期	—	20.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	91,000	1.2	6,900	5.7	6,900	5.3	3,500	2.2	419.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	8,356,000 株	24年3月期	8,356,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,812 株	24年3月期	2,812 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	8,353,188 株	24年3月期2Q	8,353,384 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※金額単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額につきましては、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間につきましても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要等により緩やかな回復基調にありましたが、世界経済の減速懸念や外交問題を背景にした輸出減速により、回復の動きに足踏みがみられました。

当業界におきましても、個人消費の停滞や原油価格の高騰懸念など引続き厳しい状況が続いております。

こうした中、当企業グループの当第2四半期連結累計期間は、営業収益441億49百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益32億25百万円（同1.5%増）、経常利益33億19百万円（同3.9%増）、四半期純利益17億28百万円（同5.3%増）となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

(物流センター事業)

当第2四半期連結累計期間の営業収益は、212億80百万円(前年同期比0.8%増)、営業利益は、25億43百万円(同1.0%減)となりました。

営業収益におきましては、不採算荷主との契約解除等があったものの、平成24年4月に取得した連結子会社（株）ジェイビーエスと前連結会計年度までに受託したセンターが順次業績に寄与したことにより増加しております。また、営業利益におきましては、新規業務の立上げ等による先行コストの発生により前年に比べ減少しております。

新規受託の概況におきましては、12社の物流を新たに受託しております。

また、稼働状況におきましては、前期受託した2社を含めた14社のうち10社稼働しております。残りの4社におきましては、平成24年10月以降の稼働を目指し準備を進めてまいります。

物流センターの総数は、新規受託による増加と既存荷主の減少及び(株)ジェイビーエスの施設を含め75センターとなりました。

引続き日々収支、全員参加、コミュニケーションを徹底して行い、収支改善に向け取り組んでまいります。

(貨物自動車運送事業)

当第2四半期連結累計期間の営業収益は、228億69百万円(前年同期比3.8%減)、営業利益は、6億78百万円(同11.8%増)となりました。

営業収益におきましては、家電関連を中心とした物量の減少により、前年に比べ減少しております。しかしながら、営業利益におきましては、近物レックス(株)における日々管理の充実等により、前年に比べ増加しております。

近物レックス(株)における取組みにおきましては、平成24年6月より、積載率の低い曜日での幹線便の見直しを実施し、幹線便費用を月額約14百万円削減しております。また、労務費及び外注費の日々管理の強化を行い、日々のコスト抑制に努めてまいりました。こうした取組みにより、同社の営業利益は、前年に比べ91百万円増加しております。

今後の近物レックス(株)の取組みにおきましては、既存及び新規荷主への営業収益確保に向けた取組み強化と、日々管理の更なる強化によりコストの抑制を図ってまいります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(当第2四半期の状況)

当企業グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比6億74百万円増加し

858億39百万円となりました。これは主に、現金及び預金等の増加により流動資産が8億43百万円増加しましたが、有形固定資産の償却等により固定資産が1億68百万円減少したことによるものであります。

負債におきましては、前連結会計年度末比10億38百万円減少し、557億44百万円となりました。これは主に、借入金が9億27百万円減少したことによるものであります。

純資産におきましては、前連結会計年度末比17億12百万円増加し300億95百万円となりました。これは主に、四半期純利益17億28百万円の計上と剰余金の配当による減少1億58百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の28.7%から30.3%へと増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにおきましては、欧州の政府債務危機、対外経済環境等の不確実性を背景とした海外景気の下振れ懸念により、依然として先行きは不透明な状況であります。

このような環境の中、顧客の物流費削減のニーズに応えるチャンスとして、当社の主力である物流センター（3PL事業）を中心にコスト削減を提案し、新規受託に向け積極的な営業を進めてまいります。また、既存の物流センターにおきましても、更なる業務効率化を推進してまいります。

当社において重要なキーワードであります、「日々収支」「全員参加」「コミュニケーション」の既存路線を踏襲した上で、更なる高みを目指し、挑戦を続けてまいります。

平成25年3月期の業績見通しといたしましては、連結営業収益910億円（前年同期比1.2%）、連結営業利益69億円（同5.7%増）、連結経常利益は69億円（同5.3%増）、連結当期純利益は35億円（同2.2%増）を見込んでおります。なお、現時点での業績予想につきましては、平成24年5月10日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

通期見通しにおける軽油単価におきましては、最近の情勢をもとに計算しております。なお、軽油単価の変動による影響におきましては、1リットル当たりの単価1円の変動により、年間約33百万円の影響となります。また借入金の変動による影響におきましては、金利0.1%の変動により年間約20百万円の影響となります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,442	5,354
受取手形及び売掛金	12,072	11,954
商品	3	3
貯蔵品	132	120
その他	1,201	1,260
貸倒引当金	△36	△34
流動資産合計	17,816	18,659
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,700	23,314
土地	34,113	34,135
その他(純額)	3,997	3,852
有形固定資産合計	61,810	61,302
無形固定資産	1,981	2,079
投資その他の資産	3,555	3,796
固定資産合計	67,347	67,179
資産合計	85,164	85,839
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,161	6,165
短期借入金	24,708	20,954
未払法人税等	1,515	1,306
賞与引当金	546	551
役員賞与引当金	46	25
その他	4,590	4,730
流動負債合計	37,570	33,734
固定負債		
長期借入金	9,658	12,485
退職給付引当金	4,915	4,934
役員退職慰労引当金	348	389
その他	4,288	4,199
固定負債合計	19,211	22,009
負債合計	56,782	55,744
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,045	4,045
資本剰余金	3,951	3,951
利益剰余金	16,498	18,068
自己株式	△8	△8
株主資本合計	24,486	26,056
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12	△31
その他の包括利益累計額合計	△12	△31
少数株主持分	3,908	4,069
純資産合計	28,382	30,095
負債純資産合計	85,164	85,839

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業収益	44,864	44,149
営業原価	40,586	39,820
営業総利益	4,278	4,329
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	3	—
役員報酬	230	220
給料及び手当	275	268
賞与引当金繰入額	35	46
役員賞与引当金繰入額	26	26
退職給付費用	13	14
役員退職慰労引当金繰入額	14	32
その他	499	495
販売費及び一般管理費合計	1,099	1,104
営業利益	3,179	3,225
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	27	21
負ののれん償却額	101	101
助成金収入	24	66
雑収入	129	124
営業外収益合計	283	314
営業外費用		
支払利息	214	190
雑損失	54	30
営業外費用合計	269	220
経常利益	3,193	3,319
特別損失		
投資有価証券評価損	9	13
保険解約損	11	—
災害による損失	9	—
特別損失合計	29	13
税金等調整前四半期純利益	3,163	3,305
法人税、住民税及び事業税	1,186	1,265
法人税等調整額	151	94
法人税等合計	1,337	1,359
少数株主損益調整前四半期純利益	1,826	1,945
少数株主利益	184	217
四半期純利益	1,642	1,728
少数株主利益	184	217
少数株主損益調整前四半期純利益	1,826	1,945
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	△24
その他の包括利益合計	5	△24
四半期包括利益	1,831	1,921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,643	1,709
少数株主に係る四半期包括利益	187	211

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	21,101	23,763	44,864	—	44,864
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	240	823	1,064	△1,064	—
計	21,341	24,587	45,928	△1,064	44,864
セグメント利益	2,570	607	3,177	1	3,179

(注) 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	21,280	22,869	44,149	—	44,149
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	261	661	922	△922	—
計	21,541	23,531	45,072	△922	44,149
セグメント利益	2,543	678	3,221	3	3,225

(注) 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。